

現在、脳内科では、バイオバンクご協力者からいただきました

試料・診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。この研究ではご提供していただいた試料等を用いて解析し、データとしてまとめるものであり、ご本人またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身がバイオバンクに提供された試料・診療情報等を「この研究課題に対しては利用して欲しくない」と思われた場合には、バイオバンク事務局（末尾）にてそのお申し出を受け付けておりますので、ご参加時にお渡ししました協力意思（同意）の撤回書をバイオバンク事務局までご提出いただくか、もしくはバイオバンク事務局までその旨ご連絡下さい。

【研究課題名】

血管内皮を標的とした脳卒中、血管性認知障害の予防・治療法の探索

【研究対象者】

2012年1月1日から2025年3月31日までの間に、脳内科で脳血管障害（無症候性脳血管障害を含む）のため入院、外来受診され、診断や治療を受けられた方

【利用している試料・診療情報等】

（検体）血漿 1300 µl、血清 1000 µl、DNA 6 µg

血漿はレスベラトロールとその代謝産物血中濃度、midregional pro-adrenomedullin、血清は SIRT1 タンパク質、eNOS タンパク質量、アルブミン-アミロイドβ複合体、DNA は ApoE 遺伝子多型の測定のために利用します。Lp(a)・APOA-1・APOB については、血清または血漿を利用します。

（診療情報等）

- ①共通項目：年齢、性別、生年月、発症日時、身長・体重・腹囲、内服薬、血圧、modified Rankin Scale (mRS)、NIH Stroke Scale (NIHSS)、既往症、喫煙・飲酒歴、家族歴、認知機能、血管内皮機能。
- ② 脳梗塞：診断、先行する一過性脳虚血発作の有無、CHADS2 スコア、画像診断、行った治療、入院中合併症
- ③ 一過性脳虚血発作(TIA)：回数、自覚症状、ABCD2 スコア、発症機序、画像診断、行った治療、入院中合併症
- ④ 脳出血：診断、画像診断、行った治療、入院中合併症
- ⑤ くも膜下出血： Hunt & Kosnik grade、画像診断、行った治療
- ⑥ 無症候性頭頸部動脈狭窄・閉塞症：画像診断、行った治療
- ⑦ 血球計数検査(白血球数、赤血球数、血小板数)、血液生化学的検査(Na, K, Cl, カルシウム、マグネシウム、総蛋白、アルブミン、AST, ALT, γGTP, CRP, 尿素窒素、血清クレアチニン、尿酸、総コレステロール、LDL コレステロール、HDL コレステロール、トリグリセリド、脳性ナトリウム利尿ペプチド)、血液凝固検査(PT, APTT, D-dimer)

（頭頸部画像）

MRI/MRA、CT/CTA、¹⁵O ガス PET、頸動脈エコー

【試料・診療情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也

【利用の目的】

【バイオバンクでの試料・診療情報等の取扱い】

バイオバンクでは、お預かりした試料や診療情報等には特定の個人を直ちに識別できないよう加工を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できない形にしたうえで、センター倫理委員会の承認を受けた各研究課題に対して払い出しを行っております。

バイオバンクでの取扱いの詳細をお知りになりたい方は、下記バイオバンク事務局までお問い合わせください。

【バイオバンク事務局】（応対可能時間：平日 9 時～16 時）
電話：06-6170-1070（内線 31050）、ファックス：06-6170-2179
E メール：biobank-jimu@ml.ncvc.go.jp

血管内皮を標的とした脳卒中、血管性認知障害の予防・治療法を探索することを目的としています。

【遺伝子解析研究】（有）

【共同利用研究機関・共同利用責任者】

東和薬品株式会社 事業開発部 部長 立木秀尚 ほか
名古屋工業大学 医用生体工学研究室 教授 中村匡徳
国立病院機構紫香楽病院 薬剤部 薬剤科長 服部雄司
Turku 大学 Turku PET センター 教授 飯田秀博

【外部機関への情報等の提供】

(共同研究機関で情報を共有する場合)

・東和薬品株式会社

上記の血液試料と診療情報等を、上記の研究機関で共有し、共同で研究を行います。共有する際は、あなたのお名前等は記載せず、個人が直接特定できないようにします。

提供方法：直接手渡し、郵送・宅配、電子的配信（データ送付時にパスワードによるロックを行う）

・名古屋工業大学

頭部MRI/MRA、CT/CTA と診療情報等を、上記の研究機関で共有し、共同で研究を行います。共有する際は、あなたのお名前等は記載せず、個人が直接特定できないようにします。

提供方法：直接手渡し、郵送・宅配、電子的配信（データ送付時にパスワードによるロックを行う）

(委託機関に試料・情報の提供を行う場合)

MR-proAM の測定のため、以下の委託機関に血漿を提供します。提供する際は、あなたのお名前等は記載せず、個人を直接特定できないようにします。

委託機関名：サーモフィッシャーダイアグノスティックス株式会社

提供方法：宅配

【利用期間】

研究許可日より 2026 年 3 月 31 日までの間（予定）

【研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：脳神経内科 医長 服部頼都

研究内容の問い合わせ担当者：脳神経内科 医長 服部頼都

電話 06-6170-1070（代表）（内線 60316）（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

【バイオバンクでの試料・診療情報等の取扱い】

バイオバンクでは、お預かりした試料や診療情報等には特定の個人を直ちに識別できないよう加工を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できない形にしたうえで、センター倫理委員会の承認を受けた各研究課題に対して払い出しを行っております。

バイオバンクでの取扱いの詳細をお知りになりたい方は、下記バイオバンク事務局までお問い合わせください。

【バイオバンク事務局】（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

電話：06-6170-1070（内線 31050）、ファックス：06-6170-2179

Eメール：biobank-jimu@ml.ncvc.go.jp